

【人材の養成に関する目的】

■文学部

文化現象の総合的理解およびその継承を基本理念とし、その実現のために、少人数教育を基本とする教養教育および専門教育との適切な調和を考慮したきめ細かなカリキュラムによって、問題発見能力および多面的な分析能力の伸長を図ること、ならびに言葉を通して形づくられた人間、歴史および社会の多様なあり方を考究し、共感を持って他者を理解する能力および自己を他者に正確に伝達する能力を涵養することによって、社会的な活動を自律的に展開するための基礎を構築することを目的とする。

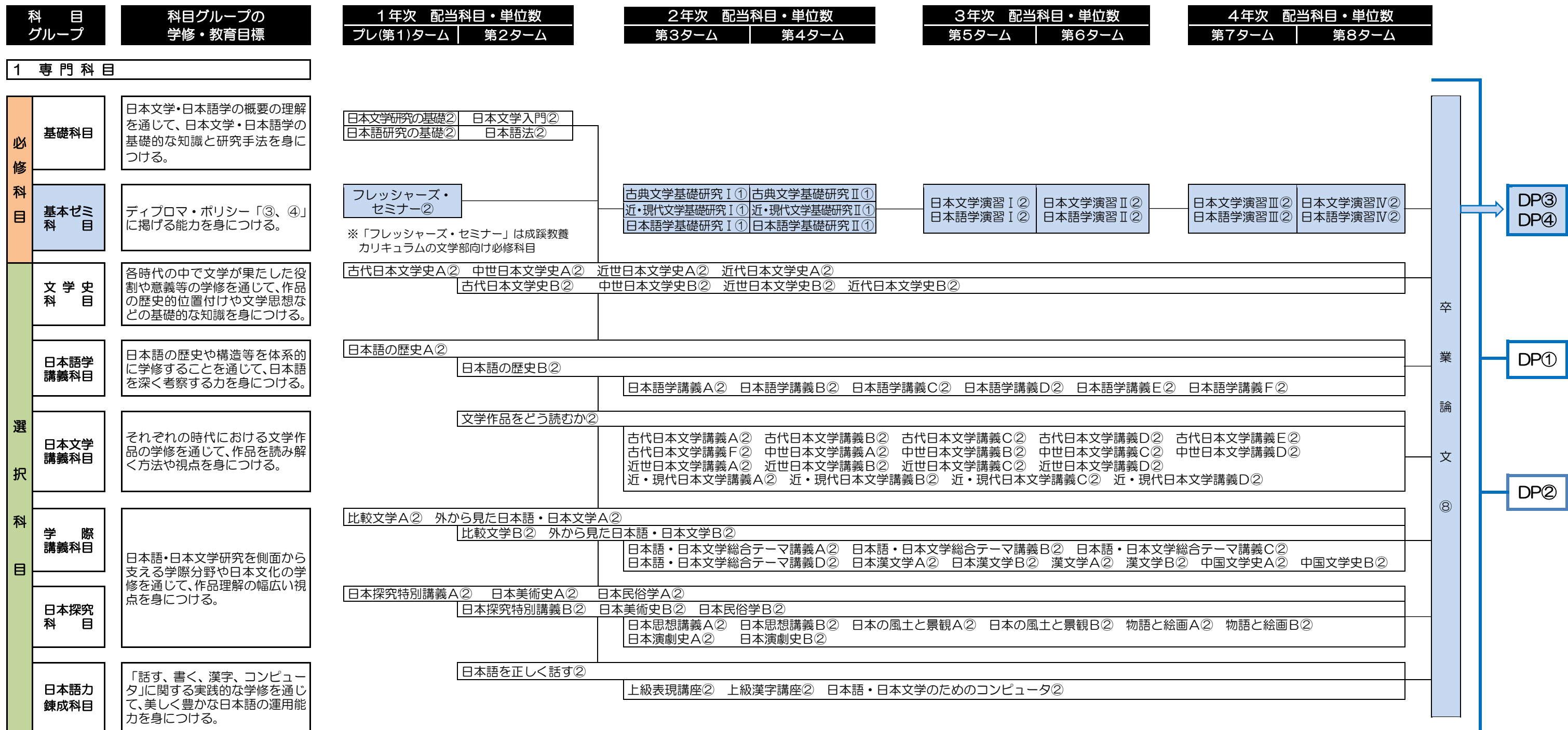
■日本文学科

- (1) 日本語および日本文学を学ぶことを通して、高度で柔軟な日本語運用力を身につけるとともに、日本人および日本文化についての幅広く体系的な教養および深い理解を獲得し、それらを社会生活において有効に活用しつつ、次の時代に受け渡すことのできる人材を養成する。
- (2) 多様な国際社会の中で、自らの文化的特性に立脚しつつ自立的に行動できる基礎的な判断力および自らの思いを積極的に伝えることのできる豊かな表現力を備えた人材を養成する。

【ディプロマ・ポリシー（DP）】

- ①文化現象の総合的理解 —— 「知識・理解」の観点から  
日本語および日本文学を学ぶことを通して、日本人および日本文化についての幅広く体系的な教養および深い理解を獲得している。
- ②問題発見能力および多面的な分析能力 —— 「思考・判断」の観点から  
多様な国際社会の中で、自らの文化的特性に立脚しつつ自立的に行動できる基礎的な判断力が備わっている。
- ③問題発見能力および多面的な分析能力 —— 「意欲・態度」の観点から  
各年次に配当された必修の演習および卒業論文の作成を通じて、批判的・論理的思考力、課題探究・問題解決力などを身につけている。
- ④他者を理解する能力および自己を他者に正確に伝達する能力 —— 「技術・能力」の観点から  
日本語および日本文学を学ぶことを通して、高度で柔軟な日本語運用力を身につけている。特に、各年次に配当された必修の演習および卒業論文の作成を通じて、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力などを身につけている。

※ 教養科目については、「成蹊教養カリキュラム：学修・教育目標（科目グループ別カリキュラム・フロー）」を参照。



科目グループ	科目グループの学修・教育目標	1年次 配当科目・単位数		2年次 配当科目・単位数		3年次 配当科目・単位数		4年次 配当科目・単位数	
		ブレ(第1)ターム	第2ターム	第3ターム	第4ターム	第5ターム	第6ターム	第7ターム	第8ターム
2 自由設計科目（選択科目）									
文学部共通科目	トピック・セミナー	テーマに沿ったいくつかのトピックを取り上げた学修を通じて、専門への基盤となる幅広い素養を身につける。		トピック・セミナーA② トピック・セミナーB② トピック・セミナーC② トピック・セミナーD② トピック・セミナーE② トピック・セミナーF②					
	ことばの世界	英文法や古典語の学修を通じて、語学力を磨き、異文化に対する理解を深める。		Active English Grammar① Practical English Grammar① ラテン語Ⅰ② ラテン語Ⅱ② 古典ギリシア語Ⅰ② 古典ギリシア語Ⅱ②					
	実践・発信する文化演習	日本文化や武蔵野地域文化に関する、日本語・英語による実践的な学修を通じて、豊かな教養と発信力を身につける。		発信する武蔵野地域文化② 実践する日本文化② Musashino Culture Studies② Japanese Culture Studies②					
	文学部総合講義	外部機関との連携等による講座を通じて、幅広い教養を身につける。		文学部総合講義A② 文学部総合講義B② 文学部総合講義C② 文学部総合講義D②					
単位認定科目	資格課程認定単位			学校と社会② 教育史② 生涯教育研究②					
	留学関係認定単位			海外研修C② 海外研修D② 海外研修E② 海外研修F② 海外研修G② 海外研修H②					
	全学共通科目超過単位								
学際科目	成蹊国際コース	〔成蹊国際コース〕で修得した単位							
	他学科・他学部・他大学	〔他学科の専門科目、他学部の専門科目および単位互換制度による他大学開講科目で修得した単位〕							